



2012年度 BIグローバルシンポジウム

グローバル化に向かう日韓企業の実態と展望

—文化と組織，ガバナンス，会計基準，財務政策，マネジメント—

甲南大学BI（ビジネス・イノベーション）研究所では、文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択（2010～2012年度）された研究プロジェクト「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」を進めています。この度、その一環として日韓企業の実態比較と展望について考えるシンポジウムを開催することになりました。

K-POPブームが起き、スマートフォンのシェアでは世界トップとなった韓国企業は様々な分野でグローバル化を加速しています。一方、日本企業は新たな経営モデルを模索し続けています。日本と韓国は東アジアの隣国として関係が深く、文化や社会構造の多くの類似点と明確な相違点について再認識することはとても重要です。企業のカバナンス、財務政策、マネジメント、IT戦略などの違いはどのようになっているのでしょうか。グローバル化に対応するために韓国では既に国際会計基準(IFRS)を導入しています。その実態はどうなっていて、日本企業はIFRSについてどう考えているのでしょうか。BI研究所では、日韓企業の経営実態の相違を明らかにすべく、協定を結んでいる韓国国立ハンバット大学（Hanbat National University）インキュベーション・センターの協力を得て、2011年10月から12月にかけて、両国の上場企業を対象に大規模なアンケート調査を実施しました¹。このシンポジウムではその結果についても報告します。また、パネルディスカッションではフロアからの質問を受け付け、日韓企業の実態について共に考えていきます。是非、多くの方に参加いただければ幸いです。

日時 2012年7月17日（火） 13:00～16:10
場所 甲南大学 岡本キャンパス 甲友会館

【プログラム】

13:00～ ご挨拶 甲南大学 副学長 西村順二
基調講演

13:05～13:30 日韓の企業・社会文化構造の比較 —儒教文化と組織・個人の行動様式—
新潟大学経済学部教授 李 健泳

統一テーマ：グローバル化に向かう日韓企業の比較

13:35～13:55 国際会計基準(IFRS)の日韓企業への影響 甲南大学経営学部教授 若林公美

14:00～14:30 韓国におけるIFRS導入実態 Hanbat National Univ. Prof. Sung-Whan, Park
Prof. Hyesong Pak (通訳)
Hanyang Univ. Prof. Yoo Chan, Kim

休憩

14:40～14:55 韓国のコーポレート・ガバナンス 甲南大学経済学部教授 高 龍秀

14:55～15:10 日韓企業の企業目的 甲南大学経営学部教授 馬場大治

15:10～15:25 日韓企業におけるIT戦略、マネジメントの実態比較 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

15:30～16:05 パネルディスカッション コーディネーター 甲南大学経営学部教授 中田善啓

「日韓の慣習・文化の違いについての私見」 Hanbat National Univ. Prof. Hyesong Pak

16:10 終了

参加費：無料。

参加希望の方は、「氏名」と「2012年度 BI グローバルシンポジウム参加希望」と書いて、e-mail で bi@center.konan-u.ac.jp まで連絡ください。申し込み締め切り：2012年7月16日

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所，社会科学研究所，甲南大学経営学会（共催）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1 TEL：078-435-2754 FAX：078-435-2324 <http://bi.bus.konan-u.ac.jp/>

¹甲南学園平生記念人文・社会科学奨励助成金および村田学術振興財団の研究助成を受けた成果の一部です。

甲南 BI

検索